

特集

ダーマコスメ ～皮膚科医が知って得する基礎知識～

羅針盤

スキンケアに深入りして



野村 有子

Nomura Yuko

野村皮膚科医院 院長

開業して25年が過ぎ、筆者の皮膚科医としてのライフワークの一つがスキンケアとなった。最初はとくに意識していたわけではないが、一人ひとりの患者さんと向き合っていくうちに、「何で治らないんだろう？」という疑問に対する解答の一つに、誤ったスキンケアによる悪化要因があることがわかってきた。そこでスキンケア教室をはじめとするスキンケア指導に力を入れるようになったのである。こういった活動を地道に行っているうちに、世の中にも認められるようになり、さらには「スキンケア製品をつくりませんか？」「ドクターズコスメをつくりませんか？」と声をかけられるようになっていった。

このように、現在はスキンケアは筆者にとって重要なテーマとなっている。しかし、スキンケアに深入りすればするほど、100人の患者さん全員に合うスキンケア製品はありえないことや、自らが望むスキンケア用品をつくりたいと思っても大手メーカー

の技術力には決してかなわないことを日々感じるようになっていった。そこで筆者は、自分がスキンケア製品をつくるのではなく、肌に合った製品を患者さんに届けることをこころがけることが自分の役割であると思うようになった。また、もう一つの筆者の大切な役割として、臨床現場からのノウハウを提供しながら、さまざまなスキンケア製品の開発に微力ながらも貢献していきたいと思うようになった。

つい最近、ある若い患者さんを経験したので紹介したい。自分の肌にふさわしいスキンケア用品をAIで検索し、AIが答えた7、8種類の石けん・化粧水・美容液のすべてを購入して使用したところ、さらに症状が悪化して来院したとのことであった。筆者が皮膚をきちんと触ってみて診断のうえ、最低限のスキンケア製品と薬剤で治療を行ったところ、2週間くらいで改善した。「私たち皮膚科専門医はAIに勝っているよね！」と申し上げたところ、「さすがです!!!」と脱帽された。

世の中には皮膚に効果的なダーマコスメがたくさん出回っている。その特性を知って患者さんに届けることで、治療効果がさらに上がることは間違いない。とくに効果的と思われる成分については、正しく知ってうまく利用したい。今のご時世ではAIをうまく利用することも必要だが、筆者は皮膚科医としての知識とプライドをもって、これからも日々地道な診療に取り組んで頑張っていきたいと思う。